



三井新成 議員

## 丸山墓地公園の管理方針は

### 町の責任において継続性と質の向上を目指す

質問：町に移管される丸山墓地公園の管理方針は。

町長：開発公社から町に移管され、町の責任において継続性と質の向上を目指すのが基本原則であり、基本方針である。その方針を基に指定管理者を選定し、管理内容の詳細を取り交わし、年次計画を立て管理していく。

質問：安全対策として階段、通路等に手すりを設置する考えは。

町長：まずは安全を重視する。現在調査をしているので、その結果により、財政とのバランスを取りながら順次改善する。ただし、戦略的、抜本的な投資は考えていない。

質問：現在未販売となっている約300区画、管理費が未納となっている

る34区画、連絡が取れない16区画、明らかに放置されていると思われる区画等を今後どうするか。

町長：548区画中268区画が残っているが、最大限売れるように看板、町ホームページ、町の広報等でPRをしていく。墓地管理費の未納者の台帳を整理しているので、住所等を調べ早期に対処していく。墓石のない区画については、必要になれば合同の無縁墓地を設けることも考えていく。

質問：墓地と併設している丸山公園のトイレを水洗に改修する考えは。

町長：水洗化をすぐにとというのは難しい。利用状況を調査し、今後の課題とする。

### ■町民用駐車場の拡充について

質問：町民センター裏のJRの所有する土地を購入し、駐車場にする考えは。

町長：苦情がないので、考えていない。必要な時は、前のグラウンドを開放する。

質問：庁舎前のガレージを移転し、役場利用者の駐車場にする考えは。

町長：大きな会議が集中した時には、誘導員をつけて第2駐車場へ誘導している。ガレージを移動するには多額の費用がかかるので、今は考えていない。



小林市子 議員

## 買い物弱者対策への町の支援や対応は

### 商店の活性化対策として「宅配サービス」を商工会が中心になって進めていると聞いている

質問：宅配サービス事業の組織を立ち上げようとしている商工会や地元商店への支援が必要では。

町長：商工会や商店街の人たちの自助努力が第二で、町が何かしようと考えるはない。

質問：地域の個人商店の売り上げの衰退や後継者問題の課題には、行政も地域住民や商工会と一緒に知恵を出すべきでは。

町長：実際にビジネスをしている商店の人の努力が第一、頑張っただけで具体的な支援内容を伝えてほしい。町は商売に関わるノウ

ハウまで持っていない。宅配サービスについて仕組みを考えたので、この部分を支援してほしいということなら町も支援する。

### ■人口増対策について

質問：町長が進める人口増対策に対して、人口減少時代への対応策も必要では。

町長：人口増対策として、子ども支援や婚活等を強化し、出生数を上げていくよう考えている。今までに新規就農パッケージで15人増、出生数も3月末までに15人位増の見込み。22年度は79人減少したが、今年度はその半分と予想している。

### ■財政面での備えについて

質問：財政調整基金の約8億7千万円は、町の備えとして十分か。

町長：現在8億7千万円で、24年度は横ばい。適正規模は10億だが、安全対策が不十分であることから、震災等に備えて危険箇所を直すことから優先していく。

### □その他の質問

\* 地方分権改革、地域主権一括法の「義務付け、枠付け」について

\* 一般会計からの補助金は、開発公社の黒字を生み出しているか

\* 三鷹光器の実証期間終了後の企業存続は